

5年間交通事故死ゼロ達成 本町に賞賛状が贈られる

5月26日で5年間交通事故死ゼロを達成した本町に岩手県警大瀧健志本部長から賞賛状が贈られました。伝達式には佐藤信逸町長と宮古警察署の高橋淳署長、地域交通安全活動推進委員協議会の外館勝男委員、交通指導

隊の佐々木正光隊長、交通安全母の会連合会の阿部秋子会長、交通安全協会山田支会の瀧磯健治会長が出席。高橋署長から賞賛状を手渡された佐藤信逸町長は「皆様の日々の活動が称えられたものである。いただいた責任を背負い、官民一体となって今後も交通安全に取り組んでいきたい」と話しました。



「自転車安全利用モデル校」 山田高校が2年連続の指定

6月15日、山田高校(晴山 俊 校長、生徒91人)が「自転車安全利用モデル校」に指定され、宮古警察署の高橋 淳 署長から指定書が交付されました。同校は昨年モデル校に指定。継続した安全利用が認められ2年連続の指定となりました。指定書を受け取った生徒会長の佐々木海音さんは「これからも全校生徒が自転車の安全な利用と歩行者優先で通行することを誓います」と決意を述べました。交付式終了後は交通安全講話が行われ、生徒たちは警察官の指導を受けながら「自転車走行シミュレーター」を使って一時停止や後方確認などの走行ルールと安全走行のための基本的な動作を再確認していました。



「シルバースOSネットワーク」は、行方が分からなくなった高齢者などを早期発見、早期保護するための仕組みです。事前に登録された対象者の情報を警察や行政、関係機関が共有し、速やかな捜索につなげます。認知症などで行方が分からなくなる恐れがある家族がいる場合は、事前の登録をお願いします。

▽登録に必要なもの ▼申請者の印鑑 ▼写真(町職員が撮影) ▼登録番号の交付 登録番号が

ご存知ですか

行方不明者の発見・保護につなげる
「シルバースOSネットワーク」



ステッカーを靴やかばんなどに貼っておくことで、身元や連絡先を確認する手がかりになります

記載されたステッカー(反射材)を交付します。

◆申込先・問い合わせ 地域包括支援センター(☎82-31136)へどうぞ。

援助や配慮が必要な人へ ヘルプマークを配布

町では、援助や配慮を必要としている人が、そのことを周囲に知らせることができる「ヘルプマーク」を無料で配布しています。身体障害者手帳や身分証明書などの提示は不要ですので、希望する人はお気軽に窓口へお越しください。



外出先などで「ヘルプマーク」を見かけた際には、思いやりのある行動をお願いします

- ▷ 配布対象 障害者や難病の人、妊娠初期の人など、援助や配慮を必要としている人
- ▷ 配布方法 町長寿福祉課窓口で申込者1人につき1個を配布

◆申込先・問い合わせ 長寿福祉課地域福祉係(☎82-3111内線149)へどうぞ。